

熊退教協 二 ユ ー ス

委員の皆さま方へ

「友好の会」開催断念について

熊本県退職教職員等連絡協議会 会長 田川 勝也

二〇一九年「友好の会」は城北地区退教協のご尽力がありながらも、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で一年間延期致しました。この一年新型コロナウイルスの感染状況を注視してきました。開催地は昨年度に引き続き城北地区にお願いしました。開催地区として開催に向け苦慮されてきましたが、県下は終息する傾向どころか拡大する状況が続いています。この様な状況では地元退教協として開催は困難と判断されました。県退教協は地元の意向、コロナウイルスの感染状況、会員の構成等を勘案し、本年度の開催を断念すると決定しました。二年の間開催に向けご尽力いただきました城北退教協の齋田会長様、会員の皆様へ感謝申し上げます。

次回の開催地は熊本市となります。コロナウイルスが二年の間どう終息するか予断を許しませんが、開催できることを願うばかりです。県下の会員が一同に会する唯一の場「友好の会」はそれぞれに思い入れがあると思えます。研修の場と懇親会。時間の経つのも忘れ旧知の顔を探しては盃をかわした思い出。再会を喜びながらも、あの人が参加できないとさびしさもこみあげてきた「友好の会」。二〇二二年にお会いできることを願って中止の報告とさせていただきます。



新年明けましておめでとうございます。 今年もよろしく願いいたします。

熊本県議会議員 岩田とも子



さて、2020年は新型コロナウイルスの影響で、あつという間に過ぎ去ったという感じが。人と集まることが極力減らされ、マスクの常時着用での毎日で、あまり笑わなかった1年でもありました。私自身ストレスなのか加齢なのか湿疹が治らなかつたり、肩こりがひどかつたりということもありました。

女性の自殺の増加、DV相談の増加、子どもへの虐待増加など、コロナ禍で社会の歪みが表れてきています。GOTO何々の施策は、医療従事者や介護関係者にとっては使えません。使える経済力がないと使えません。とても不公平な施策だと思います。

今年もこのコロナに対しては、用心しながら過ごしていきましょう。それから昨年7月の球磨川豪雨のあとの治水計画が12年前ダムによらない治水を宣言したにも関わら

ず、たった二回の検証委員会で緑の流域治水という言葉でダム建設に舵を切りました。

本当にそれで良いのかと、とても心がざわついています。被災住民の方々の声をもっと聞くべきなのではないでしょうか。日本一の清流川辺川。あの清流が穴あきダムで守れるのでしょうか。五木の方々はどう思われているのでしょうか。

県議会では、立憲民主党に3人入党されたので、会派名が立憲民主連合となりました。私は無所属ですが会派の一員となっています。12月の一般質問は、裁判で公務災害が認められた、天草の先生のことを知事に質問しました。公務災害基金の熊本支部長は知事だからです。9年たつてやっと認められたこと、二度とこんなことが起こらないようにという思いでした。学校の労働環境がなかなか変わらない。でも、諦めずに声をあげ続けていきます。

九条を守り抜きたし雲の峰



熊本七月豪雨熊退教カンパ ご協力ありがとうございます!

事務局 桑本 謙

新型コロナウイルス感染症の猛威も収まらない中に、今年七月四日未明に人吉球磨地方をはじめ県南を中心として、未曾有の豪雨水害が発生しました。線状降水帯といわれる状況が発生し、これまで経験したことのない私たちの想像を絶する大量の雨に見舞われ、多くの人命と家屋を飲み込みました。

熊退教では、八月五日緊急役員会を開催し、被災の状況調査を実施、人吉球磨十六世帯、水俣芦北地区六世帯、城北地区三世帯、熊本市一世帯(重複)の四地区、計二五世帯の会員の皆様方が大変な被害に遭われておられることを確認しました。その後、日退教への状況報告を提出し、すぐに、全国の仲間から集められた義援金合計五〇万円が届きました。それを受けて、できるだけ早くにとの思いで、九月十六日から十八日にかけて四地区の会長様を通じて被災された会員の皆様にお届けしたところです。

その後さらに、熊退教としても被災された会員の皆様の一日も早い生活再建を願って、支援のためのカンパ活動に取り組みました。その結果、わずか二ヶ月の間に各地区の協力を得て、十一月末現在で五〇万円を超える義援金が集まりました。現在、全地区の会員の皆様の思いをできるだけ早くお届けしたいと考え、十二月中には、お届けできるよう準備を進めているところです。

最後に、被災された会員の皆様の一日も早い生活の再建を願って、熊本七月豪雨熊退教カンパ活動の報告とします。
〔追記〕その後、見舞金をお届けした荒尾市の坂田峯子さんから、被災時の様子を含めてお手紙をいただきました。ご了解の上、ご紹介させていただきます。

熊退教協会長

田川勝也様

城北 坂田 峯子

拝啓

昨日、城北退教の事務局長・田中洋さんが家まで来られ、直接、災害お見舞金を受け取りました。

七月四日の豪雨ニュースにただただ恐怖でテレビの映像が信じられない思いで見入っていました。その二日後七月六日、その豪雨が荒尾上空を通過するという予報にゾーンとしながら、覚悟を決めて構えていました。

「線状降水帯」―並みの雨じゃなかったです。雨音のひどさに耳を塞ぎ震えながら前の道路が大河になっていくのを見てました。電柱の横に沈没している赤い車が恐怖を余計にそそりました。

夫がアトリエとしていた離れの家を娘が見に行ったのは夜の九時頃だったでしょうか。床上二〇cm程浸水してきた、とずぶぬれの姿で駆け込んできました。住んでいる家の玄関に水が入り始めたのが十時頃。その後やっと雨雲が動き、降り方も弱くなってきました。その翌日、川になっていた前の道路も歩けるようになってました。

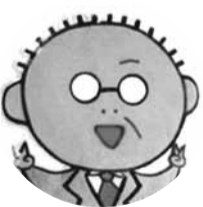
その後、家の畳を上げてみると四〇cm程も浸水、アトリエで夫が生前描いていた作品も泥水に浸かり、娘の作品も含めほとんどを廃棄。それが一番辛かったです。

被災した翌日、城北退教の安田さん、眞弓さん、河野さん、渡辺さん方が片付けの応援に来てくださり、元気を頂きました。
：お見舞金、本当に有り難く頂きます。これから片付け作業が大変ですけど頑張ります。皆様方にも宜しくお伝え下さい。

二〇二〇年九月二三日
編集の関係で一部を割愛させていただきました
おります

山鹿市議選、 応援よろしく!

応援よろしく!



本年一月三十一日(日)山鹿市議選に、熊政連議員の勢田昭一さんが二期目の挑戦に向かつて現在奮闘中です。山鹿市内にお知り合いの方がおられましたら勢田昭一さんへの投票呼びかけ、ぜひよろしく願います。

公務災害認定訴訟逆転勝訴判決報告会 子どもたちのために! 熊教組の執念が生んだ 逆転勝訴だった!

事務局 桑本 謙

去る十月三十日水前寺共済会館で、感動的な報告会が行われた。熊教組が支援し熊退教も連帯して裁判所の傍聴席を埋め尽くした裁判は、熊本地裁では敗訴したが、上告した福岡高裁で、逆転勝訴判決という結果を勝ち取った。その後、上告阻止を求めるはがき行動を展開、熊退教も協力、そして、補償基金が上告を断念し、公務災害認定が確定した。二〇〇一年十二月に脳幹部出血で倒れてから実に九年間に及ぶ闘いだ。

報告会では、その詳細が報告されたが、特に印象深い点について記したい。まず、弁護団は全国の公務災害に取り組んでおられるメンバーで、ほとんど手弁当で弁護していた。その弁護団より「この結果は、今後の多くの公務災害訴訟を闘う人たちにとても大きな成果であった。また、勝訴の大きな原動力になったのは県教組天草支部事務局長の熱い情熱と執念であった。」と述べられた。九年間支え続けた県教組、そして最も身近で家族を支え続けたその天草支部村枝書記長からは、「原告とその家族、子どもたちのために」の一心だったと涙をこらえての報告があった。厳しい状況の中でも、何かできることはないかと模索し続けた松枝書記長の執念の成し得た結果だった。万感の思いが伝わる感動的な報告会だった。

この裁判の結果を受けて、学校の労働環境が大きく改善されることを期待したい。最後に、この九年間で、当時小学生だったお子さんたちもすでに大学生になっておられるとのこと。今後のご家族の幸せを心より願う。

公務災害認定訴訟勝訴判決報告会



地区退教協の紹介

阿蘇 児玉・史朗



阿蘇退教協の最大の
お楽しみイベントは秋の
遠足です。景色を楽し
みながら弁当を食べる
のは、子どもならずと
も楽しいものです。お
まけに、会員の中にガ
イドが数名いますので、
山や植物、歴史の話に
も花が咲きます。しか
しながら、二〇一六年
は大地震で交通が遮断
され、中止。その上会
員の高齢化のために目
的地や内容を検討せざるを得ませんでした。
そこで、二〇一七年から新たに「懐かしの

心から歓迎します

父母との穏やかな時間

熊本 緒方 利美



私は、小学一年生の時の
担任の先生が大好きで「私
も学校の先生になりたい。」
と思い教職の道に進みまし
た。そして、小中学校合わ
せて四三年間、この仕事を続けることができ
てとても幸せでした。出会った子どもさん
達、保護者の皆様、先生方に感謝の気持ちで
いっぱいです。

二〇一九年一月に、父が免許返納をして
くれたのを機に、教職生活にピリオドをうつ
ことにしました。四月からは、父母の通院や
買い物等の送迎をしたり、家庭菜園で野菜を
作ったり、庭木の剪定や草取りをしたりと、
父母との穏やかな時間に幸せを感じながら過
ごしています。また、しおりをはさんだまま
になっていた本を開いてゆっくり読書を楽し
んだり、新聞を一時間くらいかけて読んだり
と、ゆったりと流れる時間を満喫していま
す。長年続けてきた「ママさんバレー」では、

学校巡り」を始めました。阿蘇地区は北は小
国から南は旧蘇陽まで管内が広く、近年まで
は道路事情も悪かったため、退職後に訪れる
機会は多くありません。そのうえ菊池郡や熊
本市に居住する会員にとっては尚更のことだ
す。「昔赴任した学校は今どうなっているの
か」「校区の様子は変わったのだろうか」総会
での提案は即受け入れられました。一年目は
旧波野村の総合前の五小学校跡地と統合後の
小学校中学校を巡り、二年目は旧蘇陽町で、
今は廃校となっている二瀬本・菅尾・大野・
長谷・東竹原の各小学校を巡り、そして三年
目の昨年は小国郷の小学校から、杉室・蓬萊・
満願寺・星和各小学校を巡りました。

廃校となっても校舎・校庭が残っていれば
おのずと思い出が蘇ります。一人の思い出話
を聞いてみると、当時の自分の思い出と重
なつて懐かしさがこみ上げてきます。参加し
た会員の笑顔は予想以上のものでした。
今年も二巡り目を予定していましたが、コ
ロナのためやむなく中止しました。阿蘇への
交通状況も良くなりました。来年は再開でき
そうです。楽しみます。

新加入の方へ

高校時代一緒に頑張った同級生が六人も集ま
り、笑いながらも真剣にバレーボールを楽し
んでいます。
娘の「四三年間、頑張ったごほうびたい。」
の言葉にあまえて、やりたいことをやりなが
ら心も体も元気に過ごしています。

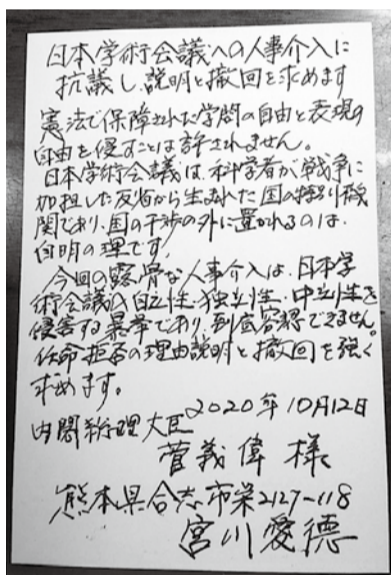
平和憲法を活かす熊本県民の会

副会長 牛嶋武良子

平和憲法を活かす熊本県民の会は「日本国
憲法第九条を世界の平和理念に」を結成以来
の基本とし、次の運動に取り組んでいます。
① 平和憲法の推進（日本の軍事大国化反対・
核兵器廃絶・自衛隊海外派兵反対）
② 政治の浄化と民主化（政党助成金と企業団
体献金の廃止・女性の政治参画促進）
③ 基本的人権の擁護（男女平等社会の推進・
部落差別の根絶・障害者の自立と社会参加
の推進・在日外国人や子どもの権利擁護）
④ 憲法遵守の民主教育の確立（国家権力の教
育介入反対・教科書採択制度の民主化）

日本学術会議への人事介入は許さないぞ！

事務局長 桑本 謙



菅政権が、日本学術会議が推薦した会員候
補のうち六名の任命を拒否しました。理由を
求めても呪文のように「総合的、俯瞰的に」
とはぐらかすばかりです。特定秘密保護法や
安保法制に反対し、安倍政権の「戦争ができ
る国づくり政策」に批判的な学者を強権的に
排除したので。政権にとって都合の悪い人

間を排除し学術会議を御用機関化するのが狙
いであることは明白です。
日退教ではすぐに抗議行動を開始。それを
受けて、熊退教でも重要課題と位置付けて、
「菅政権の露骨な人事介入は、憲法で保障さ
れた学問の自由と表現の自由、日本学術会議
の自立性・独立性を侵害する暴挙である。」
ことを確認し、熊退教独自で抗議のはがきを
制作、全地区に協力依頼し、内閣総理大臣菅
義偉宛ての「抗議ハガキ行動」を実施しまし
た。現職他関係団体のご協力も得て、確認で
きただけでも熊本から二〇〇通を超えるはが
きが内閣官房に届けられています。
国会前では、今も有志による抗議デモが実
施されています。今後も、国民無視の「忖度
全体主義菅政権」の暴挙を許さない運動を共
に展開していきましょう。

⑤ 環境の保護（自然環境の保全・地球温暖化
防止・原子力エネルギー政策の見直し）
毎年、「戦争遺跡の現地学習」「八・一五平和
集会」「十二
・八反戦集
会」等の独
自行動を積
み重ねてき
ています。
しかし、
今年も新型
コロナの感
染拡大防止のため街頭署名活動等中止が続い
ています。



この状況の中、十月十日野党共闘で「憲法
を活かし、安心して暮らせる政治へ転換しよ
う」と大甲橋の上での集いに県民の会も参加
しました。参加者は約二百四十名で、次々に
各団体の代表者が熱のこもったアピールがあ
りました。

※2月11日を考える県民集会のご案内

- 日時：2月11日 13時30分
 - 会場：県民交流館パレア第一会議室
 - 講師：高山佳奈子（京都大学教授）
 - 演題：日本学術会議問題とは何か
- 多数のご参加をお待ちしています

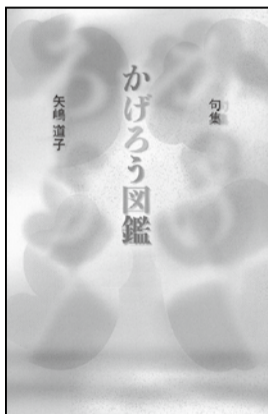
会員の方

御投稿ありがとうございます

非効率を楽しむ…私と俳句

菊池 矢嶋 道子

陽炎まで七歩の街に生きている
原爆忌飛べない鶴を折り続く
行間に父の戦後史雁渡る
ざら紙に未完の戦記いわし雲
赤紙の来そうな水位冬の月



人生、先
のことはわ
からないと
言うが、私
と俳句との
出会いもま
さにそう。

菊池支部の役員をめでたく(?) 卒業したあ
る日、「年取った時に何か趣味があったが
いよ」との誘いに、軽い気持ちで俳句会なる
ものに顔を出したのがこの始まり。この句
会の月一回の例会には当季五句を出すことに
なっているのだが、元々、俳句に興味関心が
あったわけではなく、今でも題材・語彙等の
乏しい私には、句作は難行苦行。それでも句

会への参加が続いているのは、先生や句友達
の作品からの刺激が、私の次への意欲につな
がっているからだろう。そんな「はい苦」の
日々の中、一昨年は、俳句を始めて二十年、
古稀を迎えたのを機に、句集「かげろう図鑑」
を編み、近年は、俳句大会への投稿にも挑戦
したり。
俳句は、費やした時間の分、いい句が生ま
れるとは限らず、つくづく効率の悪いものだ
と思う。が、もうしばらくは、この非効率の
世界を楽しみたいと思っっている。

自転車保険としてもご利用いただけます！お問い合わせもお気軽にどうぞ！

教職員の皆さまと そのご家族の安心な毎日のために。



厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合
熊本県事業所
TEL 096-372-1311
〒862-0976 熊本市中央区九品寺1-11-4



レスキューズリーは、教職員共済の「交通災害共済」と、損害保険会社の「傷害
総合保険」を組み合わせたものです。
この広告はレスキューズリーの概要を説明したものです。ご契約にあたっては
必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧
いただき、制度内容をご確認ください。 承18-企-62(1902)

教職員共済

- 交通事故は通常のケガよりも手厚く補償
- 日常的におこるほとんどのケガを補償
- 自転車事故などの損害賠償責任も補償

ケガ・事故・賠償
レスキューズリー
交通災害共済